

平成 20 年度 九州工業大学 2 次試験前期日程 (数学問題)
数 I · II · III · A · B · C (120 分)
情報工学部 平成 20 年 2 月 25 日

問題 1 2 3 4

1 実数 c ($c > 0$) に対して, $x > 0$ で定義された次の関数 $f(x)$ を考える.

$$f(x) = \log_e x - c(x - 1)$$

ただし, e は自然対数の底である. 以下の問いに答えよ.

- (1) $f(x)$ は最大値を持つことを示せ. また, $f(x)$ が最大になるときの x の値とそのときの $f(x)$ の値を c を用いて表せ.
- (2) (1) で求めた最大値を m とするとき, c の値によらず $m \geq 0$ であることを示せ.
- (3) すべての x ($x > 0$) に対して, $f(x) \leq 0$ が成り立つときの c の値を求めよ.
- (4) すべての x ($x > 0$) に対して

$$\log_a x - b(x - 1) \leq 0$$

が成り立つときの, 実数 a ($a > 1$) と b ($b > 0$) が満たすべき関係式を求めよ.

2 実数 a, b ($a > 0, b > 0$) に対して, 点 $(1, 1)$ を通る放物線 $C: y = ax^2 + b$ と, 放物線 C の点 $(1, 1)$ における接線 l を考える. 以下の問いに答えよ.

- (1) b を a を用いて表せ.
- (2) 接線 l の方程式を a を用いて表せ.
- (3) 放物線 C , 接線 l および y 軸で囲まれた図形のうち, $y \geq 0$ の部分の面積 S を a を用いて表せ.
- (4) S が最大となるときの a の値とそのときの S の値を求めよ.

3 数列 $\{x_n\}$ および $\{y_n\}$ を 2×2 行列 M により次の式で定める.

$$\begin{pmatrix} x_{n+1} \\ y_{n+1} \end{pmatrix} = M \begin{pmatrix} x_n \\ y_n \end{pmatrix} \quad (n = 0, 1, 2, \dots)$$

$a > 0$, $b > 0$, $a + b < 1$ を満たす実数 a , b に対して, 行列 M を

$$M = \begin{pmatrix} 1-a & 1-a-b \\ a & a+b \end{pmatrix}$$

で与える. $x_0 = 1$, $y_0 = 0$ のとき, 以下の問いに答えよ.

- (1) $n = 0, 1, 2, \dots$ に対して, $x_n + y_n = 1$ が成り立つことを示せ.
- (2) $n \geq 1$ のとき, y_n を y_{n-1} , a , b を用いて表せ.
- (3) $n \geq 1$ のとき, x_n を x_{n-1} , a , b を用いて表せ.
- (4) 数列 $\{x_n\}$ および $\{y_n\}$ の一般項を a , b を用いて表せ.
- (5) 原点を O , 座標 (x_n, y_n) を表す点を P_n とするとき, $\triangle OP_n P_{n-1}$ の面積を S_n とする. $L_n = S_1 + S_2 + \dots + S_n$ とするとき, $\lim_{n \rightarrow \infty} L_n$ を求めよ.

4 出席者 n 人の会議で, 出席者のうち $\frac{2}{3}$ 以上が議案に賛成する確率 T_n と, $\frac{1}{2}$ 以上が賛成する確率 H_n を考える. 各出席者が議案に賛成する確率を p ($0 \leq p \leq 1$) とし, 各出席者が賛成するかしないかは互いに独立であるとする.

たとえば, $H_2 = 2p(1-p) + p^2 = 2p - p^2$ である.

このとき, 以下の問いに答えよ. ただし, 出席者は賛成するかしないかのどちらかであるものとする.

- (1) T_3 を求めよ.
- (2) $H_2 \geq T_3$ を示せ.
- (3) 差 $H_2 - T_3$ が最も大きくなるときの p の値を求めよ.
- (4) $p = \frac{1}{2}$ のとき, $T_3 \geq T_6 \geq T_9$ を示せ.
- (5) $p = \frac{1}{2}$ のとき, H_{2k+1} ($k \geq 1$) を求めよ.

解答例

- 1 (1) $f(x) = \log_e x - c(x-1)$ を微分すると

$$f'(x) = \frac{1}{x} - c = \frac{1-cx}{x}$$

x	(0)	...	$\frac{1}{c}$...
$f'(x)$		+	0	-
$f(x)$		↗	極大	↘

右の増減表により $x = \frac{1}{c}$ のとき最大値 $-\log_e c - 1 + c$

- (2) (1) の結果から $m = -\log_e c - 1 + c$ ($c > 0$)

これを微分すると

$$\frac{dm}{dc} = -\frac{1}{c} + 1 = \frac{c-1}{c}$$

c	(0)	...	1	...
$\frac{dm}{dc}$		-	0	+
m		↘	0	↗

右の増減表から $m \geq 0$

- (3) すべての x に対して, $f(x) \leq 0$ が成り立つとき,
 $f(x)$ の最大値 m が $m \leq 0$ であるから, (2) の結果から

$$m = 0 \quad \text{すなわち} \quad c = 1$$

- (4) $a > 1$ のとき, すべての x ($x > 0$) に対して

$$\log_a x - b(x-1) \leq 0$$

が成り立つとき

$$\frac{\log_e x}{\log_e a} - b(x-1) \leq 0 \quad \text{ゆえに} \quad \log_e x - (b \log_e a) \cdot (x-1) \leq 0$$

$c = b \log_e a$ とおくと, 上の第2式は $f(x) \leq 0$

これがすべての x に対して成り立つとき, (3) の結果から

$$b \log a = 1$$



- 2 (1) 放物線 $y = ax^2 + b$ は点 $(1, 1)$ を通るから

$$1 = a \cdot 1^2 + b \quad \text{よって} \quad b = 1 - a$$

- (2) $y = ax^2 + b$ を微分すると $y' = 2ax$

$$\text{ゆえに, } x = 1 \text{ のとき} \quad y' = 2a$$

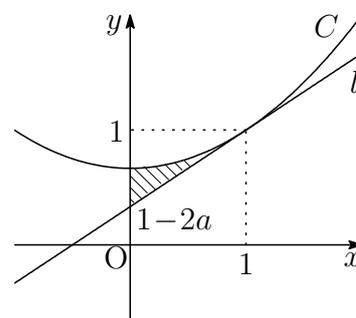
求める接線 l は, 点 $(1, 1)$ を通り, 傾き $2a$ の直線であるから

$$y - 1 = 2a(x - 1) \quad \text{よって} \quad y = 2ax + 1 - 2a$$

- (3) $a > 0, b > 0$ および (1) の結果から $1 - a > 0$ ゆえに $0 < a < 1$

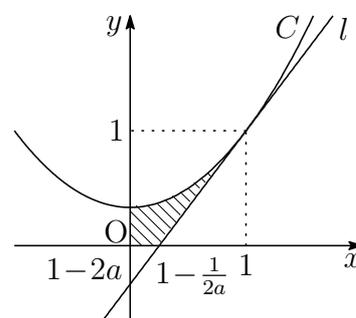
- i) $1 - 2a > 0$ すなわち $0 < a < \frac{1}{2}$ のとき

$$\begin{aligned} S &= \int_0^1 \{ax^2 + 1 - a - (2ax + 1 - 2a)\} dx \\ &= a \int_0^1 (x - 1)^2 dx \\ &= a \left[\frac{1}{3}(x - 1)^3 \right]_0^1 = \frac{a}{3} \end{aligned}$$



- ii) $1 - 2a \leq 0$ すなわち $\frac{1}{2} \leq a < 1$ のとき

$$\begin{aligned} S &= \int_0^1 (ax^2 + 1 - a) dx \\ &\quad - \frac{1}{2} \left\{ 1 - \left(1 - \frac{1}{2a} \right) \right\} \cdot 1 \\ &= \left[\frac{a}{3}x^3 + (1 - a)x \right]_0^1 - \frac{1}{4a} \\ &= 1 - \left(\frac{2a}{3} + \frac{1}{4a} \right) \end{aligned}$$



- (4) (3) の結果から, $\frac{1}{2} \leq a < 1$ において, S は最大値をとる.

相加平均・相乗平均の関係により

$$\frac{2a}{3} + \frac{1}{4a} \geq 2\sqrt{\frac{2a}{3} \cdot \frac{1}{4a}} = \frac{\sqrt{6}}{3}$$

上式において, 等号が成立するとき $\frac{2a}{3} = \frac{1}{4a}$ すなわち $a = \frac{\sqrt{6}}{4}$

$\frac{1}{2} \leq \frac{\sqrt{6}}{4} < 1$ に注意して, $a = \frac{\sqrt{6}}{4}$ のとき, S は最大値 $1 - \frac{\sqrt{6}}{3}$ をとる.

■

3 (1) $\begin{pmatrix} x_{n+1} \\ y_{n+1} \end{pmatrix} = M \begin{pmatrix} x_n \\ y_n \end{pmatrix}$, $M = \begin{pmatrix} 1-a & 1-a-b \\ a & a+b \end{pmatrix} \dots (*)$ より

$$\begin{cases} x_{n+1} = (1-a)x_n + (1-a-b)y_n & \dots \textcircled{1} \\ y_{n+1} = ax_n + (a+b)y_n & \dots \textcircled{2} \end{cases}$$

①, ②の辺々を加えると $x_{n+1} + y_{n+1} = x_n + y_n$

よって $x_n + y_n = x_0 + y_0 = 1$

(2) (1)の結果から, $x_n = 1 - y_n$. これを②に代入すると

$$y_{n+1} = a(1 - y_n) + (a+b)y_n \quad \text{ゆえに} \quad y_{n+1} = by_n + a$$

よって $y_n = by_{n-1} + a \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$

(3) (1)の結果から, $y_n = 1 - x_n$. これを①に代入すると

$$x_{n+1} = (1-a)x_n + (1-a-b)(1-x_n) \quad \text{ゆえに} \quad x_{n+1} = bx_n + 1 - a - b$$

よって $x_n = bx_{n-1} + 1 - a - b \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$

(4) (2)の結果から

$$y_n - \frac{a}{1-b} = b \left(y_{n-1} - \frac{a}{1-b} \right)$$

$$y_n - \frac{a}{1-b} = b^n \left(y_0 - \frac{a}{1-b} \right)$$

$$y_0 = 0 \text{ より} \quad y_n = \frac{a(1-b^n)}{1-b}$$

上式を $x_n = 1 - y_n$ に代入すると

$$x_n = 1 - \frac{a(1-b^n)}{1-b} \quad \text{ゆえに} \quad x_n = \frac{1-a-b+ab^n}{1-b}$$

(5) $A_n = \begin{pmatrix} x_{n-1} & x_n \\ y_{n-1} & y_n \end{pmatrix}$ とおくと, $A_1 = \begin{pmatrix} x_0 & x_1 \\ y_0 & y_1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 1-a \\ 0 & a \end{pmatrix}$

(*) より $A_n = M^{n-1}A_1$ ゆえに $\det A_n = (\det M)^{n-1} \det A_1$

このとき $\det M = (1-a)(a+b) - (1-a-b)a = b$, $\det A_1 = a$

したがって $\det A_n = ab^{n-1}$

また, $S_n = \frac{1}{2} |\det A_n|$ であるから, $a > 0$, $b > 0$ より $S_n = \frac{1}{2} ab^{n-1}$

$L_n = S_1 + S_2 + \dots + S_n$ は初項が $\frac{1}{2}a$, 公比が b ($0 < b < 1$) の等比数列の初項から第 n 項までの和であるから

$$\lim_{n \rightarrow \infty} L_n = \frac{a}{2(1-b)}$$



- 4 (1) 3人のうち、2人または3人が賛成する確率であるから

$$T_3 = {}_3C_2 p^2(1-p) + p^3 = 3p^2 - 2p^3$$

- (2) (1)の結果および $H_2 = 2p - p^2$ から

$$\begin{aligned} H_2 - T_3 &= (2p - p^2) - (3p^2 - 2p^3) \\ &= 2p^3 - 4p^2 + 2p \\ &= 2p(p-1)^2 \geq 0 \end{aligned}$$

よって $H_2 \geq T_3$

- (3) $f(p) = H_2 - T_3$ とおくと $f(p) = 2p^3 - 4p^2 + 2p$

ゆえに $f'(p) = 6p^2 - 8p + 2 = 2(3p-1)(p-1)$

$0 \leq p \leq 1$ における $f(p)$ の増減表は次のようになる。

p	0	...	$\frac{1}{3}$...	1
$f'(p)$		+	0	-	
$f(p)$		↗	極大	↘	

よって、 $H_2 - T_3$ が最大になるとき $p = \frac{1}{3}$

$$(4) \quad T_{3n} = \sum_{k=2n}^{3n} {}_{3n}C_k \left(\frac{1}{2}\right)^k \left(1 - \frac{1}{2}\right)^{3n-k} = \left(\frac{1}{2}\right)^{3n} \sum_{k=2n}^{3n} {}_{3n}C_k$$

上式に $n = 1, 2, 3$ をそれぞれ代入すると

$$\begin{aligned} T_3 &= \left(\frac{1}{2}\right)^3 \sum_{k=2}^3 {}_3C_k = \frac{1}{8} ({}_3C_2 + {}_3C_3) \\ &= \frac{3+1}{8} = \frac{4}{8} = \frac{128}{256}, \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} T_6 &= \left(\frac{1}{2}\right)^6 \sum_{k=4}^6 {}_6C_k = \frac{1}{64} ({}_6C_4 + {}_6C_5 + {}_6C_6) \\ &= \frac{15+6+1}{64} = \frac{22}{64} = \frac{88}{256}, \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} T_9 &= \left(\frac{1}{2}\right)^9 \sum_{k=6}^9 {}_9C_k = \frac{1}{512} ({}_9C_6 + {}_9C_7 + {}_9C_8 + {}_9C_9) \\ &= \frac{84+36+9+1}{512} = \frac{65}{256} \end{aligned}$$

よって $T_3 \geq T_6 \geq T_9$

$$\begin{aligned}
(5) \quad H_{2k+1} &= \sum_{j=k+1}^{2k+1} {}_{2k+1}C_j \left(\frac{1}{2}\right)^k \left(1 - \frac{1}{2}\right)^{2k+1-j} \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+1} \sum_{j=k+1}^{2k+1} {}_{2k+1}C_j \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+2} \sum_{j=k+1}^{2k+1} (2 \times {}_{2k+1}C_j) \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+2} \sum_{j=k+1}^{2k+1} ({}_{2k+1}C_j + {}_{2k+1}C_{2k+1-j}) \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+2} \sum_{j=0}^{2k+1} {}_{2k+1}C_j \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+2} \times 2^{2k+1} = \frac{1}{2}
\end{aligned}$$

■